
第 36 回交通工学研究会論文賞 第 25 回交通工学研究会技術賞

2022 年 2 月に行われた交通工学研究会論文賞・技術賞選考小委員会において論文賞・技術賞候補が選定され、令和 4 年 3 月 16 日開催の第 4 回理事会において決定いたしました。

第 36 回交通工学研究会論文賞

飽和交通流率の変化とその要因に関する研究

青山 恵里, 下川 澄雄, 吉岡 慶祐, 森田 綽之

交通工学論文集 2021 年第 7 巻 第 1 号

選考理由

本研究は、信号交差点の容量解析や計画・設計に用いられる飽和交通流率の基本値を実測し、現在使われている基本値よりも、約15%程度低下していることを明らかにしたものである。また、その要因が車間時間の増加と発進加速度の低下、車間をあけた状態での信号待ちなどによるものであることを明らかにした論文であり、実務上非常に有用な調査・分析であると高く評価された。ゆえに、本研究は十分論文賞に相応しい論文であると判断した。

第 25 回交通工学研究会技術賞

首都高のスマートインフラマネジメントシステム (i-DREAMs)

首都高速道路 株式会社

機関誌「交通工学」第 56 巻 1 号 報告に掲載

選考理由

本紹介は、首都高速道路における構造物の維持管理業務を支援するスマートインフラマネジメントシステム (i-DREAMs) を紹介したものであり、インフラの調査・設計 (DIM)、施工 (CIM)、維持管理 (MIM) のプロセスにおける各種データを地理情報システム (GIS) 上で統合管理するものである。また、モバイルマッピングシステム (MMS) で取得した3次元点群データを加えることにより、構造物の劣化・損傷を AI 活用による画像解析で「見える化」することにより、高度なインフラマネジメントが可能となることを紹介している。これらの技術は、他のインフラにも展開可能であり、今後のスマートインフラマネジメント利用につながるものと期待される。ゆえに、十分技術賞に値するものと判断した。